

【開催趣旨】

これまで、龍谷大学は、犯罪や非行をおかしてしまった人たちの社会復帰のためにさまざまな事業をしてきました。1977年には特別研修講座「矯正・保護課程」を設置、2002年には文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業（AFC）の助成を得て「矯正・保護研究センター」を設置しました。2010年、これらの教育と研究の実績をより発展させ、その成果を広く社会へと還元するため「矯正・保護総合センター」を開設しました。

このたび、上記総合センターの開設を記念し、国際シンポジウムを開催することになりました。メイン・ゲストには、北欧犯罪学をリードし、人間を大切にする刑事政策の実現に多くの成果をあげてきたノルウェーの碩学ニルス・クリスティー教授（オスロ大学）をお招きし、この問題に関心をもつ多くの方々とともに、日本の刑事政策の目指すべき方向を考えてみたいと思います。

.....
ニルス・クリスティー Nils Christie（オスロ大学教授）

ノルウェーの社会学者、犯罪学者。1966年以来、オスロ大学教授。コペンハーゲン大学名誉教授。その著書『刑罰の限界（Pinens begrensning；Limits to Pain）』（1981年）は、多くの国で翻訳された。薬物犯罪、産業社会、刑務所などを鋭く批判している。

〔主著〕— A Suitable Amount of Crime (2004)

（平松 毅 = 寺澤比奈子訳『人が人を裁くとき——裁判員のための修復的司法入門』有信堂、2006年）

— Crime Control as Industry: Towards GULAGs, (2000)

（寺澤比奈子訳『司法改革への警鐘——刑務所がビジネスに』信山社出版、2002年）

— Beyond Loneliness and Institutions: Communes for Extraordinary People (1989)

（立山龍彦訳『障害者に施設は必要か——特別な介護が必要な人々のための共同生活体』東海大学出版会、1994年）

— Limits to Pain (1981)（立山龍彦訳『刑罰の限界』新有堂、1987年）

【事前学習企画】 「人間を大切にするノルウェーの刑事政策とはなにか」

第1回：7月23日（土） / 第2回：10月1日（土） ※時間、場所、ナビゲーターは両日共通

3・4講時（13:15～16:30） 龍谷大学深草学舎21号館603教室 ナビゲーター：石塚伸一氏（龍谷大学法科大学院教授）

＝お問い合わせ＝ 龍谷大学矯正・保護総合センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 電話 075-645-2040 FAX 075-645-2632

<http://rcrc.ryukoku.ac.jp/about/index.html> E-mail: kyosei-hogo@ad.ryukoku.ac.jp

【参加申し込み方法】

参加を希望される方は、以下の要領で、FAX または WEB からお申し込みください。

FAX でお申し込みされる方は、参加申込書にご記入の上、FAX（075-645-2632）にて送信してください。

WEB からお申し込みされる方は、龍谷大学矯正・保護総合センターのホームページ（<http://rcrc.ryukoku.ac.jp/index.php>）のページ上部にある「お申し込み」からお申し込みください。

お申し込みを受け付けさせていただいた方には、9月上旬より「入場券」を送付させていただきます。シンポジウムにお越しの際は、必ずお持ちください。

参 加 申 込 書

フリガナ			
お名前			ご所属・ご職業 (差し支えなければ)
ご住所	〒		
FAX番号			電話番号
通訳機の必要 いずれかを○で囲んでください	必要・不要	メールアドレス	